

施策評価シート (評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 防犯活動の充実	② 施策番号	5102
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	2 暮らしの不安や生活をおびやかす危険のないまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	1 防犯対策の充実		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
都市整備部	道路課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	市民
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	地域の自主防犯活動の推進及び市民一人ひとりの防犯意識の啓発・高揚を図る。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	防犯対策としての防犯灯の整備については一定市内全域整備済みと考えられる為、今後の維持管理方法と街路灯のLED化を推進する。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 新規設置本数 計算式: 設置本数/要望件数	本	一定整備済みの状況からの充実度が図られる。
② 修繕件数 計算式: 対応件数/修繕要望件数	件	維持管理状況が把握できる。
③ 計算式:		

指標名	単位		H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考
① 新規設置本数	本	目標値	29	11	24	—	—	
		実績値	20	9	24	—	—	
		達成率	69.0%	81.8%	100.0%			
② 修繕件数	件	目標値	12	15	11	—	—	
		実績値	12	15	11	—	—	
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
③		目標値						
		実績値						
		達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価		今後の方向性
1	防犯灯維持管理事業	修繕件数	件	15	11	—	45,597	41,499	42,244	B	イ b	◎
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						45,597	41,499	42,244			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	防犯灯の設置など地域の自主防犯活動の推進を支援する事で、市民の防犯意識を高め防犯対策の充実を図る。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	H27年度から修繕が激減している。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	防犯灯の設置については市内全域一定整備済みであり位置等のデータベースでの管理も可能となった為、市民一人ひとりの更なる防犯意識の啓発・高揚を図る為にも、地元区、自治会と協力し維持管理を図る。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	本事務事業としては、適正であるが、地域の自主防犯活動や市民一人ひとりの防犯意識の啓発や高揚も必要。(1施策1事業)
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	防犯灯の設置については、防犯に必要であり中心的事業として継続。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	B	増設等の実施主体の手法検討や地域の自主活動への支援方法。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	要望等の整理をおこなうと共に自主防犯活動への移行推進を図るべく設置計画の策定に取り組む。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	地元区、自治会への事業移行説明。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	自主的防犯活動として地元区、自治会での取り組み実施。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	B	防犯灯のLED化により維持管理に係る経費が節減され、防犯活動の充実に向けて適切に取り組まれている。 維持管理費の経過観察を行うとともに、地域活動と連携した今後の展開について引き続き検討を進められたい。	